

神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 <http://www.kanagawa-park.or.jp/>)

山岳スポーツセンター 【秦野市戸川1392 TEL 0463-87-9025】



10月21日、山岳スポーツセンター屋外クライング前広場で官民協働事業として丹沢大山国定公園を中心に自然の美化活動に取り組んでいる「丹沢大山クリーンピア21」設立30周年記念式典が盛大に行われました。式典にはボランティア団体ほか加盟している県、4市2町1村の関係者など約350名が参加し主催者、来賓の挨拶のあと、西丹沢の自然にふれあう会(斉藤会長)のクリーン活動の発表、5団体の表彰が行われ、引続き玉川アルプホルンクラブと丹沢アルプホルンクラブ19名による演奏のアトラクションがあり優雅なひと時を過ごしました。会長さんの挨拶の中で「登山者のマナーは向上しているが、事業系ゴミの不法投棄が増えている。未来を担う子供たちにきれいな山を残すためにも、清掃や啓発活動に取り組んでいきたい」とのお話がありました。式典終了後は、秦野戸川公園周辺とサブ会場の菩提峠でクリーンハイクが実施されました。(小清水)

丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 TEL 0465-78-3888】

山々が色づくこの季節、丹沢湖周辺の景色はさらに美しさを増し、私たちの目を楽しませてくれます。空気は澄みわたり、白くきれいに化粧をした富士山を望む機会も増えます。青い空、白い富士山、色づいた山々のコントラストに、訪れる人たちも思わずにっこりです。そんな景色を楽しんだ後は是非、ビジターセンターを覗いてみてください。常設展示、季節替わり展示の他、企画展を2つ開催中です。

バーチャル登山



1つ目は「バーチャル登山」で、職員が日頃自然情報収集の際に撮りためた写真を元に、登山コースの見どころや注意箇所などを紹介しています。登山してみたい方も、登山をした気分になってみたい方も是非お楽しみください!

2つ目は「SOS 丹沢の生き物」です。豊かに見える丹沢の自然ですが、実はいろいろな問題があります。丹沢の現状や抱えている問題を写真などでわかりやすく紹介し、将来を考えます。

「バーチャル登山」は12月28日まで、「SOS 丹沢の生き物」は2008年3月30日まで開催しております。開館中はいつでもご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております!(村上)



陣馬自然公園センター 【相模原市藤野町佐野川659-3 TEL 0426-87-5270】



陣馬山から富士山を望む

10月：朝晩ひんやりした空気が肌に触れ、陣馬山頂への登山道には、今年はたくさんのお花が落ちています。山頂への階段脇の足下にはかわいいヤクシソウ・タイアザミ・アキノキリンソウ・アキノタムラソウ・リュウノウギク・キバナアキギリ・ヤマハッカ・サラシナショウマ・ツリフネソウなどの花々が咲いていました。

また、8月に出現した「ペルセウス座流星群」に引き続き、「オリオン座流星群」が、21日午前1時頃から陣馬山の秋の夜空に出現し、その流星の輝度は高く、流れは速く、山頂に設置してある「白馬」も瞬時に光り、一瞬の輝きを見せてくれました。

27日実施予定の自然教室「陣馬山で秋の草花を楽しもう」は台風20号の接近に伴い大雨となり中止となってしまいました。前日から降り出した雨は激しさを増し、台風9号の被害を受けた裏山からは泥水も勢いよく流れ出しましたが前回のよう被害はありませんでした。

11月：急激に冷え込む日が続く、センター周辺の山々を彩る木々の葉も赤・黄・オレンジ・褐色に色づくのが目立ち始めました。

センター周辺の景色を楽しみながら訪れた来館者はクラフト教室で木の実や花の種を使って飾り付けるキーホルダーや置物、クリスマスリースを完成させ大変喜んでいました。(荒井)

宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 TEL 046-288-1373】

11月半ば、モミジの葉に先駆けて、ヤマザクラやウワミズザクラが紅葉の見ごろを迎えました。同じサクラの仲間とは言っても、ヤマザクラは赤く、ウワミズザクラは黄色く色づきます。

11月下旬には、モミジの仲間たちが紅葉のピークを迎えることでしょう。モミジの仲間もやはり、色とりどりの装いで私たちの目を楽しませてくれます。赤く色づくのは、イロハモミジやオオモミジ、黄色く色づくのはウリカエデやイタヤ



紅葉するイロハモミジ



黄葉するウワミズザクラ

カエデなど。ちなみに、モミジとカエデは同じ仲間です。そんな仲間たち、よく観察してみると種類や生育場所、日照条件、時期などにより、色合いは一言では表現できないほどの複雑さを見せてくれます。是非、紅葉の景色を楽しむだけでなく、木々の一本一本、木の葉一枚一枚に目を向けてみてください。きっと自然の持つ奥深さを実感出来るでしょう。

動植物は、きたる冬に向けて、着々と冬支度を整えています。あなたはいかがですか?忙しい毎日の中、季節を忘れていませんか?少し足をのばして、自然が教えてくれる季節の移り変わりを感じに出かけてみてください。(長澤)

西丹沢自然教室 【山北町中川867-2-9 TEL 0465-78-3940】

今年の紅葉は、11月中旬の時点で標高800m~900mの紅葉が見頃になっています。今年はブナ・ミズナラがきれいに黄色く色づいています。時期は平年と比べると遅く、西丹沢周辺では一週間から10日くらい遅れています。今年の西丹沢での紅葉の移り変わりは次のとおりです。

- 10月6日、標高1500m以上でゴヨウツツジが赤くなり始める。
- 10月14日、標高1500m以上でカエデ類の紅葉が始まる。
- 10月24日、標高1300m付近でカエデ類の紅葉の見頃を迎える。
- 11月8日、標高1000m付近で紅葉の見頃を迎える。
- 11月14日、標高800m~900m付近で紅葉の見頃を迎える。

紅葉が遅くなったのは梅雨が後れて夏が遅かったことが原因の一つといわれています。地球温暖化が紅葉にも影響してくるのでしょうか。たまには地球のことを考えながら丹沢を歩いてみませんか。(倉持)



カエデ類、ナナカマド等の紅葉 (10/26 熊木沢)

秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 TEL 0463-87-9300】

下にある写真の森を見て、どう感じますか?美しい...?それとも...?



この森は緩やかな斜面に広がり、大木も散在するブナの森です。一見美しく穏やかな森ですが、実はとても異常な光景なのです。それは...

木々の下に注目してみてください。何も生えていないのです!

10月18日に行われた自然教室「丹沢のブナ林を訪ねて」では23名の参加者が、様々な問題を抱える「堂平」(丹沢山の近く)を訪れ、その状況を見、また、保全対策事業に携わる神奈川県の職員の話聞き、丹沢の抱

えている問題について考えました。

本来はササが覆っているはずのところ、ニホンジカの食圧の影響などで土がむきだしになり、土壌が流出している様子や、植生保護柵(シカの食圧から植物を保護する柵)の内外の植物の種類や生長具合の対比に驚き、問題の深刻さを目のあたりにしました。

シカはかつて、県内の平野部の広い範囲に分布していましたが、開発により棲息地が奪われ、現在は狭い山岳部に高密度に棲息することから問題が起こっています。また、首都圏の大気汚染が原因の一つと考えられているブナの立ち枯れや、年間100万人に及ぶ登山者によるオーバーユース(過剰利用)など、丹沢の問題は丹沢周辺に住む人だけで解決できるものではありません。できるだけ多くの人が関心をもち、行動することが大切なのです。

秦野ビジターセンターでは企画展「丹沢大山自然再生計画」を開催中です。丹沢の未来について一緒に考えてみませんか!(鈴木)

